

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2019-166061 (P2019-166061A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-040
 【出願番号】特願 2018-56201 (P2018-56201)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 C

A 6 3 F 5/04 5 1 7

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

遊技メダル投入口と、

ブロックと、

ホッパーと、

前記ホッパーを駆動させて遊技メダルを払い出すときに変位可能な可動片を検知し得る検知手段 C 及び検知手段 D (検知手段 C は可動片が初期位置にあるときに検知し、検知手段 D は可動片が変位した後の所定位置にあるときに検知する) と

を備え、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値を T 1 とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルが投入された時から、当該遊技メダルがブロックに到達する直前までの期間の設計値を T 2 とし、

前記ホッパーを駆動させることによって所定数の遊技メダルを払い出す場合において、検知手段 C が可動片を検知しなくなる時から、検知手段 D が可動片を検知したあと再度検知手段 C が可動片を検知して、次の遊技メダルを払い出すために再度検知手段 C が可動片を検知しなくなる時までの期間の設計値を T 3 としたとき、

T 1 < T 2

T 1 < T 3

となっている遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第 1 実施形態）は、

遊技メダル投入口（メダル投入口４７）と、
ブロック（４５）と、
ホッパー（３５）と、

前記ホッパーを駆動させて遊技メダルを払い出すときに変位可能な可動片を検知し得る
検知手段Ｃ（払出しセンサ３７ａ）及び検知手段Ｄ（検知手段Ｃは可動片が初期位置にあ
るときに検知し、検知手段Ｄは可動片が変位した後の所定位置にあるときに検知する）（
払出しセンサ３７ｂ）と

を備え、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮
断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をＴ１（図５中、「
Ｔ１」）とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当
該遊技メダルが投入された時から、当該遊技メダルがブロックに到達する直前までの期間
の設計値をＴ２（明細書「０２２７」に記載の「Ｔ２'」に相当）とし、

前記ホッパーを駆動させることによって所定数の遊技メダルを払い出す場合において、
検知手段Ｃが可動片を検知しなくなる時から、検知手段Ｄが可動片を検知したあと再度検
知手段Ｃが可動片を検知して、次の遊技メダルを払い出すために再度検知手段Ｃが可動片
を検知しなくなる時までの期間の設計値をＴ３（図８中、Ｓ３１からＳ３５まで）とした
とき、

$T1 < T2$

$T1 < T3$

となっている遊技機である。